

AV MATERIAL

ニュースクリップ & 映像教材

文部科学省情報

■「GIGAスクール特別講座～GIGA×スポーツ～」アーカイブ動画公開

文部科学省では、スポーツ競技やアスリートへの関心を高めるとともに、技術の向上のためのデータ活用する意義に気付く機会を提供することをねらいに本特別講座を去る3月3日に実施。その講座のアーカイブ動画を公開した。

＜内容＞テーマ「アスリートと考えよう！～データで拓く スポーツ新時代～」とし、講師に元・フィギュアスケート選手の小塚崇彦氏を迎え、学校と中継でつないだ様子を公開。詳しくは文部科学省ホームページより、「GIGAスクール特別講座～GIGA×スポーツ～」の項目を参照のこと。

＜問い合わせ先＞文部科学省初等中等教育局 GIGA StuDX推進チーム

MAIL gigastudx@mext.go.jp

■「高校生による専門高校の魅力紹介動画」募集

文部科学省では、専門高校の魅力を発信するため、新たに開設する専門高校Instagramアカウント（[mext_sangyo](https://www.instagram.com/mext_sangyo)）にて、動画を募集している。特に、優秀と認められる動画には、文部科学大臣賞の表彰を行う。

＜応募対象＞農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉に関する学科またはコース等を設置している専門高校等（総合学科含）。

＜動画要件＞動画作成は、現役高校生が行うこと。専門高校等の魅力を発信する内容であること。動画の長さは45秒～1分以内をめぐとし、SNS（Instagram）で再生に適するよう縦長の動画が望

ましい等。

＜募集期間＞令和7年5月30日（金）

＜問い合わせ先＞文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付産業教育振興室

TEL 03-6734-2904

AV情報

■「第16回教育総合展EDIX東京」開催

EDIX実行委員会主催により、標記展示会が開催される。

＜日時＞令和7年4月23日（水）～25日（金）

10：00～18：00、最終日のみ17：00終了。

＜会場＞東京ビッグサイト南展示棟（東京都江東区有明3-11-1）

＜内容＞教材・コンテンツ、STEAM・探究学習、ICT機器、教育DX、人材育成・研修、施設・サービス、支援業務の7つのエリアでの展示、セミナー等。要事前申込。

＜問い合わせ先＞RXJapan（株）

TEL 03-6739-4126

コンクール・研究助成情報

■中央教育研究所「教科書研究奨励金」公募

（公財）中央教育研究所では、若手の研究者による教科書に関する研究の発展と日本の教育の改善を目的とし、教科書に関連する研究に奨励金を交付しており、その交付先を公募している。

＜助成対象＞日本および諸外国の学校またはその他の教育機関で使用されている教科書についてのさまざまな研究。教科は問わない。教科横断的な研究、諸外国の教科書研究など。

資料紹介

「NHK放送100年史」



NHK編
NHK出版 発行
2025年2月19日発行
A4判、1,552頁
22,000円(本体)

令和7(2025)年3月22日のラジオ放送開始100年を記念して発行された本書は、NHK(日本放送協会)とその前身が、この100年間に放送してきた番組を網羅的に記録するとともに、放送番組が時代とともにどのように姿を変えてきたのかを系統立ててまとめられている。本書は、毎年の放送記録として発行してきた「ラジオ年鑑」「NHK年鑑」、放送開始から毎日の放送番組を記録している放送番組表確定情報、過去に編纂されたNHK編集による放送史や各種放送関連資料を手がかりに、NHKのほぼすべての定時番組が一覧できるよ

うに整理され、過去の番組記録にとどまらず、将来に向けてアーカイブ番組を再活用できるよう、活字とデジタルデータが並行して編集されている。冊子の二次元バーコードでNHKアーカイブスのウェブサイトと連動し、短い番組動画を閲覧可能、最新情報にもアクセスできる。

主な目次は、以下のとおり。

○ラジオ編1 1925-2024/巻頭インタビュー、NHKラジオ放送史、ドラマ、クイズ・バラエティー、音楽、伝統芸能、ニュース、報道・ドキュメンタリー、紀行、教養・情報、自然・科学、こども・教育、趣味・実用、大型特集番組等、NHKフォトストーリー、国際放送、マンガで読むNHKヒストリー○テレビ編2 1953-2024/NHKテレビ放送史、ドラマ、クイズ・バラエティー、音楽、伝統芸能、ニュース、報道・ドキュメンタリー、紀行、教養・情報、自然・科学、こども・教育、人形劇・アニメ、趣味・実用、大型特集番組等、おもな特集番組、NHKニュース、NHKフォトストーリー
放送100年。NHKテレビ・ラジオ番組の歴史をレガシーとして未来に遺す一冊となっている。(編集部)

<応募資格>大学院生、大学教員、研究者/個人研究または共同研究。

<交付金額>1件につき25万円。

<締切>令和7年4月25日(金)

<問い合わせ先>(公財)中央教育研究所

TEL 03-5390-7488

■令和7年度第41回学習デジタル教材コンクール 作品募集

(公財)学習情報研究センターでは、標記コンクールの作品を募集している。

<応募資格>○団体(学校、教育委員会、教育センター、その他教育機関、研究グループ等、教員の指導のもとにある児童生徒)、○個人(学校の教員、教育委員会、教育センターの教育関係専門職、その他教育経験者等(大学生含))。

<対象作品>○教員等(大学生含)が作成したもの。児童生徒の学習のために作成したデジタル教材・アプリ(ソフトウェアや教材等を創意工夫によりパッケージ化されたものを含む)、既存のデジタル教材・アプリ等を活用した授業実践事例。

○児童生徒が作成したもの。教員の指導のもとに、児童生徒が学習活動の一環として作成したデジタルの成果物。

<賞>文部科学大臣賞(団体賞、個人賞)、学情研究賞、企業賞(以上、各賞金5万円)ほか。

<応募期限>令和7年5月7日(水)

<問い合わせ先>(公財)学習情報研究センター
コンクール係 TEL 03-6205-4531

■「第66回科学技術映像祭」作品募集

科学技術への関心を喚起するとともにその普及

と向上をはかり、社会一般の科学技術教養の向上をめざすことを目的に、(公財)日本科学技術振興財団、(公社)映像文化製作者連盟、(公財)つくば科学万博記念財団、(一財)新技術振興渡辺記念会主催による標記映像祭では、作品を募集している。

＜募集対象・部門＞○一般部門、○学生部門（大学生まで。社会人でも大学（大学院除）の学生は対象）の2部門。なお、一般部門は、応募料1作品15,000円。学生部門は、無料。

＜応募資格＞日本所在の製作者、企画者（スポンサー）、テレビ局、学術研究・教育機関および個人が製作した作品。

＜募集要件＞令和6年1月1日から令和7年3月31日までに完成した作品で本映像祭へ初出品であること。作品の上映時間は、10分以内の短編とそれ以外として、最長90分以内。メディアは、映画・ビデオ、テレビ番組、インターネット等で配信・配布されている動画等。作品制作におけるAIの利用については、利用の有無と利用した場合の具体的な利用箇所等について記載のこと。

＜賞＞内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞他。

＜締切＞令和7年5月15日（木）消印有効。

＜問い合わせ先＞科学技術映像祭事務局
(公財)日本科学技術振興財団人材育成部
TEL 03-3212-8487

文部科学省選定作品

■2月選定 紙 紙しばい

「みんなだいすき たんぽぽさん」紙8枚<幼稚園／幼児、教養> (株) 童心社

「きんいろの むぎばたけ」紙12枚<幼児・少年、教養> (株) 童心社

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/

短信

■文部科学省初等中等教育局学校情報基盤・教材課および学校デジタルPTの異動 令和7年4月1日付

＜学校情報基盤・教材課＞

○学校情報基盤・教材課課長補佐 中嶋光穂氏→初等中等教育局初等中等教育局企画課課長補佐○学

校デジタル化総括係長 竹野健太氏→学校デジタル化PT専門官（初等中等教育局企画課専門官）※昇任した上で金岡専門官の後任として配置換え○GIGA基盤企画係員 今村優里花氏→大臣官房会計課財務企画班（決算係）○初等中等教育局健康教育・食育課課長補佐 小林美陽氏→学校情報基盤・教材課課長補佐○初等中等教育局教育課程課教育課程企画室企画係長 清水健吾氏→学校デジタル化総括係長○新規採用 古賀大輝氏→GIGA基盤企画係員

＜学校デジタルPT＞

○学校デジタル化PT情報教育振興室室長補佐（教育課程課情報教育振興室室長補佐）川口貴大氏→国立大学法人兵庫教育大学先端研究推進機構教育政策トップリーダーカリキュラム研究開発室教授○学校デジタル化PT学びの先端技術活用推進室長補佐 渡部剛士氏→警察庁生活安全局人身安全・少年課少年保護対策室長○学校デジタル化PT GIGA StuDX推進チーム専門官（教育課程課専門官） 繁田華氏→初等中等教育局教科書課課長補佐○学校デジタル化PT専門官（初等中等教育局企画課専門官） 金岡由岐子氏→徳島県教育委員会高校教育課長○学校デジタル化PT情報教育振興室情報教育振興第二係長（教育課程課情報教育振興室情報教育企画係長） 杉昌樹氏→宮崎県教育委員会教育政策課政策・情報化推進担当指導主事○初等中等教育局参事官（高等学校担当）付高校修学支援室室長補佐 相川修二氏→学校デジタル化PT情報教育振興室室長補佐（教育課程課情報教育振興室室長補佐）○新規採用 菅野祐太氏→学校デジタル化PT学びの先端技術活用推進室長補佐○文化庁参事官（芸術文化担当）付参事官補佐 西尾佐枝子氏→学校デジタル化PT GIGA StuDX推進チーム専門官（教育課程課専門官）○学校情報基盤・教材課学校デジタル化総括係長 竹野健太氏→学校デジタル化PT専門官（初等中等教育局企画課専門官）○久喜市教育委員会GIGAスクール推進室長 山本純氏→学校デジタル化PT情報教育振興室情報教育振興第二係長（教育課程課情報教育振興室情報教育企画係長）

※本欄掲載のイベント開催等の最新情報は、主催者＜問い合わせ先＞に、ご確認ください。



国立映画アーカイブ コンテンツ紹介1

「フィルムは記録する－国立映画アーカイブ歴史映像ポータル－」

国立映画アーカイブ主任研究員 大澤 浄

国立映画アーカイブ（NFAJ）は、日本で唯一の国立映画機関である。その活動は、1952年に設置された国立近代美術館（現・東京国立近代美術館）の映画事業にはじまり、1970年には東京国立近代美術館の一部門としてのフィルムセンター開館を経て、2018年の（独立行政法人国立美術館の6番目の館として）NFAJ設立へと至る。

NFAJのミッションは、映画の保存・研究・公開を通して映画文化の振興を図ることにある。これまでに収集した映画フィルムは、87,250本にのぼり（2024年3月末時点）、神奈川県相模原市にある専用の施設で大切に保存されている。NFAJでは2017年から、所蔵映画をデジタル化し、ウェブサイトで配信するという新事業に取り組んでいる。広く人々にNFAJの貴重なコレクションにふれてもらい、映画の歴史や文化に対する興味を引きつけたり、新たな創造を促したいという願いがこめられている。このサイト設立には、情報学という新しい学問分野に取り組む国立情報学研究所（NII）との連携が不可欠であった。

2017年に開設した配信サイト「日本アニメーション映画クラシックス」以降、NFAJはNIIと共同で計6つの映画作品配信サイトを立ち上げた。本連載では、これら6サイトの特徴や使い方などを紹介する。

フィルムは記録する－国立映画アーカイブ歴史映像ポータル－

本サイトは、NFAJの配信サイトの中でも公開作品数をもっとも多く、2025年3月末現在で計239本になる。日露戦争の記録映画をはじめ、科学やスポーツなどの教育映画、産



写真・『菓子と乳製品』（明治製菓製作、1930年代）

業や地方振興などのPR映画、皇室行事や軍事演習の記録、また重要文化財フィルム『史劇 楠公訣別』（1920年）など、1900～1940年代に製作された文化・記録映画が視聴可能である。これら作品の一つ一つには、それを生み出した日本の近現代社会の諸相と、そこで生きてきた人々の姿が色濃く刻まれている。

たとえば『菓子と乳製品』（写真）というわずか9分のPR映画では、1930年代に明治製菓の工場でチョコレートがどのように製造されていたのかが、製造機械の駆動や工員の仕事ぶりと共に分かりやすく記録されている。活きた社会の教科書とも言うべきこうした作品を通して、映像の持つ情報量の多さ、教育的効果の大きさに気付くであろう。

各作品には「災害・防災」「産業」「スポーツ」などジャンルのタグを付けて検索・ソートしやすくしている。また年代や撮影地域、フリーワードによる検索も可能である。

学校や地域・社会の目的に応じた本サイトの活用をめざして、今後も新たな公開作品を追加し、更新していく予定である。

今回紹介の教材は、下記URLにアクセスを。
<https://filmisadocument.jp/>